

## Lesson9

# 名詞/ ガラスの心を持つオトコ

His heart is made of glass.

**英**語の名詞には**可算名詞**（数えられる名詞）と**不可算名詞**（数えられない名詞）があります。**名詞**が出てきた時はそれが数えられるモノかどうかを意識してみましょう。**His heart is made of glass.** 「ガラスの心を持つオトコ」では**可算名詞**と**不可算名詞**の両方を使っています。

このレッスンを受講することで可算名詞/不可算名詞について理解できます。

## Topics

名詞/ His heart is made of glass.

### Topic1 可算名詞

- 可算名詞の種類：普通名詞、集合名詞
- 可算名詞の注意点：冠詞、複数形

### Topic2 不可算名詞

- 不可算名詞の種類：物質名詞、不可算名詞として扱われる集合名詞、抽象名詞、固有名詞
- 不可算名詞の数え方

### Topic3 可算名詞と不可算名詞のまとめ

- 可算名詞と不可算名詞の両方がある名詞
- 冠詞
- 動詞との一致

### Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。



His heart is made of glass.

## ■ Topic1

### 可算名詞

基本的に「1つとわかるもの/1区切りとなるもの/始めと終わりがあるもの」は**可算名詞**です。

**可算名詞**には**普通名詞**と**集合名詞**があります。

#### ●可算名詞の種類：普通名詞、集合名詞

- ・ **普通名詞**：同種の意味する名詞。

基本的に、どこからどこまでが1つと分かるものは**普通名詞**です。

例： **computer**「コンピュータ」、**book**「本」、**person**「人」、**letter**「手紙」、**idea**「アイデア」など。

また、**始めと終わり**がある物も**普通名詞**です。

例： **lesson**「レッスン」、**movie**「映画」、**meeting**「会議」、**season**「季節」、**year**「年」など。

- ・ **集合名詞**：1つの**グループ**を意味する**名詞**。

1つの**グループ**として1つ2つと**数えることができる**ものは**集合名詞**です。

例： **family**「家族」、**team**「チーム」

**team** は複数の人数で構成されていますが、**team** 全体を1つ2つと数えることができます。

- ・ **複数形で用いる名詞**：複数形で1つの単位と考える名詞。

靴、靴下、手袋などのように2つで1単位とするものです。**a pair of** ～を前につけ使うことが多いです。

例： **scissors**「ハサミ」、**trousers**「ズボン」、**pants**「ズボン」、**gloves**「手袋」、**pajamas**「パジャマ」、**shoes**「靴」、**socks**「靴下」、**glasses**「眼鏡」など。

## ●可算名詞の注意点：冠詞、複数形

可算名詞は1つの場合は**冠詞 (a/an, the)**、**数 (one など)** や**所有格の代名詞**などをつけます。基本的に**単数形は無冠詞にできません**。また、**2 つ以上**ある場合は**複数形**にします。**複数形**の場合は意味・状況により何もつけない場合もありますが、**数**、**定冠詞(the)**、**所有格の代名詞**などをつけます。

例えば



**I have book.**

のように無冠詞・単数形は誤りです。必ず、



**I have a book.** 「私は1冊の本を持っています。」



**I have the book.** 「私はその本を持っています。」

または、



**I have some books.** 「私は本を数冊持っています。」

のようにします。このように冠詞をつけるか複数形にする必要があります。

複数形にする場合は



**I have three books.** 「私は本を3冊持っています。」

のように数をつけることもできます。

**Jane bought a dictionary.** 「ジェーンは1冊の辞書を買いました。」

冠詞 a + dictionary の単数形

a dictionary 「1冊の辞書」

注意：冠詞 **a** は「1つの」という意味になります。

**Mr. Anderson bought three apples and two oranges yesterday.**

「昨日、アンダーソンさんは3つのリンゴと2つのオレンジを買いました。」

apple の複数形

apples 「複数のリンゴ」

orange の複数形

oranges 「複数のオレンジ」

## ■ Topic2

### 不可算名詞

**可算名詞**に対して**不可算名詞**があります。基本的にどこまでが**1つ**という区切りがない物、人や場所の名前などは**不可算名詞**です。

#### ●不可算名詞の種類：物質名詞、不可算名詞として扱われる集合名詞、抽象名詞、固有名詞

##### ・物質名詞

**物質**を意味する**名詞**は**不可算名詞**です。例えば、水はどこからどこまでが1つと数えることはできませんので**不可算名詞**です。

例：water「水」、coffee「コーヒー」、steel「鉄」、wood「材木」など。

##### ・抽象名詞

**抽象的な概念**を意味する**名詞**も数えることができません。

例：music「音楽」、philosophy「哲学」、information「情報」、advice「忠告」など。

**物質名詞**と**抽象名詞**の注意点：**可算名詞**とは異なり**複数形**はありません。また、**不可算名詞**は**無冠詞**で使うことができます。**the wood**「その材木」、**the music**「その音楽」のように**the**をつけることはありますが**a/an**をつけることはできません。

##### ・固有名詞

人、団体、場所などの名前も**不可算名詞**です。

例：Mr. Kimura「木村さん」、Margret「マーガレット」、ABC Co.「ABC社」、Chicago「シカゴ」など。

##### ・不可算名詞として扱われる集合名詞

**不可算名詞として扱われる集合名詞**の中には、日本語の感覚で考えると「どうして?」と思ってしまうような**不可算名詞**もあります。そのような**名詞**はTOEIC (R) Test でもポイントになることがあるので注意が必要です。

例：furniture「家具」、equipment「設備、機材」、clothing「衣服」、hardware「ハードウェア」、software「ソフトウェア」、baggage「手荷物」、luggage「かばん類、手荷物」など。

**不可算名詞**の注意点：**可算名詞**とは異なり**複数形**はありません。また、**不可算名詞**は**無冠詞**で使うことができます。

## ●不可算名詞の数え方

不可算名詞の前に可算名詞をつけて数えることもあります。

例 : a glass of water 「グラス 1 杯の水」、a cup of coffee 「コップ 1 杯のコーヒー」、a piece of furniture 「1 つの家具」

May I have a glass of orange juice? 「私にグラス 1 杯のオレンジジュースをいただけませんか?」

可算名詞 + 不可算名詞

a glass of orange juice

注意 : orange juice (不可算名詞) に glass (可算名詞) をつけ数えられるようにした表現です。

## ■ Topic3

### 可算名詞と不可算名詞のまとめ

#### ●可算名詞と不可算名詞の両方がある名詞

同じ名詞でも意味により可算名詞と不可算名詞の両方になる名詞は多いです。そのため可算名詞と不可算名詞の意味・考え方を理解しておくことが大切です。

**I bought ten apples yesterday.** 「私は昨日 10 個のリンゴを買いました。」

※個別のリンゴの事なので可算名詞です。

**This jam is made from apple.** 「このジャムはリンゴから作られています。」

※原料について述べているので不可算名詞です。

**I really had a good time at Jenny's party last night.**

「昨晚は私はジェニーのパーティーでとても楽しい時間を過ごしました。」

※パーティーで過ごした時間には初めと終わりがありますから可算名詞です。

**I don't have time to talk with you now.** 「私はあなたと話す時間は今ありません。」

※時間があるかどうかという意味では時間に区切りはないので不可算名詞です。

## ●冠詞

**可算名詞**は**単数形**で**無冠詞**にできませんので、**可算名詞の単数形**には必ず**冠詞**などがつくことになります。また、**不可算名詞**は**無冠詞**で使われる場合もありますが、**定冠詞(the)**をつけることもあります。

### ・可算名詞と冠詞

**a: I bought a briefcase, yesterday.** 「私は昨日ブリーフケースを買いました。」

**b: Is that the briefcase you bought yesterday?** 「あれが昨日あなたが買ったブリーフケースですか？」

注意：最初に話題に出す時は**冠詞 a** をつけます。(次の単語が母音で始まる場合は **an** にします。

例：**an orange, an expensive portable music player**) また、どれのことをさしているか分かる場合に **the** を使います。

**I bought some briefcases, yesterday.** 「私は昨日ブリーフケースをいくつか買いました。」

このように**複数形**の場合は**無冠詞**で使うことができます。でも、どのスーツケースのことをさしているか分かる状況では **the** をつけます。

### ・不可算名詞と冠詞

**Do you have furniture?** 「家具はありますか？」

前後関係・状況などから、どの家具のことか分からない場合は**無冠詞**を使います。

**We liked the furniture.** 「私達はその家具が好きでした。」

**不可算名詞**にも**可算名詞**と同様 **the** をつけ特定のものを示す意味になります。

**the** をとり **We liked furniture.** とすると、「不特定の家具（家具一般）が好きでした。」という意味になります。

## ●動詞との一致

可算名詞が主語となる場合、動詞は主語にあわせ、**単数形**には単数形に対応した**動詞**、複数形には複数形に対応した**動詞**をつけます。

## be 動詞

| 単数/複数 | 例文と解説  |
|-------|--|
| 単数    | <b>A friend of mine is a teacher.</b> 「私の友人の1人は先生です。」  |
|       | 単数 : <b>a friend (of mine)</b> が <b>主語</b> なので <b>動詞</b> は <b>is</b> を使います。また、 <b>過去形</b> の場合は <b>was</b> を使います。 |
| 複数    | <b>Some friends of mine are teachers.</b> 「私の数人の友人は先生です。」  |
|       | 複数 : <b>some friends (of mine)</b> と <b>複数</b> の場合は <b>are</b> を使います。また、 <b>過去形</b> の場合は <b>were</b> を使います。      |

## 一般動詞

| 単数/複数 | 例文と解説   |
|-------|---|
| 単数    | <b>A friend of mine lives in Yokohama.</b><br>「私の友人の1人は横浜に住んでいます。」  |
|       | 単数 : <b>a friend (of mine)</b> が <b>主語</b> なので <b>動詞</b> を <b>三人称単数現在形</b> にするため <b>s</b> をつけます。 <b>過去形</b> の場合は <b>lived</b> とします。               |
| 複数    | <b>Some friends of mine live in Yokohama.</b><br>「私の数人の友人は横浜に住んでいます。」   |
|       | 複数 : <b>some friends (of mine)</b> と <b>複数</b> の場合は <b>live</b> のままです。 <b>過去形</b> の場合は <b>lived</b> にします。 <b>過去形</b> の場合は <b>単数・複数</b> で違いはありません。 |

## スコアアップ!

(DVD 版のみ収録)



例題 : \_\_\_\_\_ is ready for sale.

- a. New product
- b. A new product
- c. New products

この問題では **b. A new product** 「1つの新しい製品」が答えとなります。**product** が可算名詞であることと動詞が **is** であることがポイントです。**a. New product** では可算名詞が無冠詞で単数形となっていますので、この形自体に誤りがあります。**c. New products** 「複数の新しい製品」は可算名詞が複数形となっているので形は正しいですが、**be** 動詞は **are** にする必要があります。

**A new product is ready for sale.** 「1つの新しい製品の販売の準備が整っています。」

**a cup of beer** 「コップ一杯のビール」

私の知り合いにどんな飲み物にでも思わず **a cup of** ~ をつけてしまう人がいます。彼はある時、バーで一杯のビールを注文しようと思い、**Give me a cup of beer, please.** 「コップ一杯のビールをください。」と言いました。そうすると、バーテンがまじめな顔をして **Is a glass OK?** 「グラスでもいいですか?」と尋ねてきたそうです。やはり、何でも **a cup of** ~ としてしまうのは不自然なようです。ちなみに1人の場合は **a glass of beer** 「グラス一杯のビール」などと言えはいいですが、大人数で飲み物を注文する場合、いちいち入れ物を付け加えて注文するのは大変です。例えば **Can we have two cups of coffee, one cup of tea, and three glasses of beer, please?** 「私達にコップ2杯のコーヒー、コップ1杯の紅茶、グラス3杯のビールください。」という具合です。実はこれは、**Can we have two coffees, one tea, and three beers, please?** のように注文することもできます。**coffee** は不可算名詞とされていますが、このように状況や場面によっては、可算名詞として使うこともあります。いちいち入れ物のことを考えないで注文しても良いのです。

コーヒーブレイク (DVD版のみ収録)

## Wrap-up

- 英語の名詞には可算名詞と不可算名詞がある
- 不可算名詞の中には日本語では可算名詞と思える名詞もある
- 可算名詞と不可算名詞の両方がある名詞もある



## His heart is made of glass.

### 「ガラスの心を持つオトコ」

所有格 + 可算名詞

his heart 「彼のハート」

不可算名詞

glass 「ガラス」

主語 代名詞 + 名詞

his heart 「彼のハート」

述語動詞 be 動詞 + 過去分詞

is made 「作られています」

追加情報 前置詞 + 名詞

of glass 「ガラスで」



## Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. Mr. Sanchez bought \_\_\_\_\_ almost a month ago, but he hasn't paid for them yet.
  - a. a computer
  - b. two computers
  - c. hardware
  - d. software
2. Two pieces of \_\_\_\_\_ are bolted together to make it stable.
  - a. wood
  - b. woods
  - c. wooden
  - d. woodcraft
3. \_\_\_\_\_ are closed due to remodeling.
  - a. Office
  - b. An office
  - c. The office
  - d. All offices

## Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. More information \_\_\_\_\_ available on our web site.
  - a. be
  - b. is
  - c. are
  - d. am
2. One of the \_\_\_\_\_ is to install a new anti-virus program.
  - a. opt
  - b. option
  - c. options
  - d. optional
3. According to a research, the average office worker drinks two \_\_\_\_\_ of coffee a day.
  - a. cup
  - b. cups
  - c. piece
  - d. pieces

## Explanation - Practice

### 1. Mr. Sanchez bought two computers almost a month ago, but he hasn't paid for them yet.

「サンチェスさんは約1カ月前にコンピュータを2台買いましたが、まだそれらの料金を払ってません。」

解説： **b. two computers** 「2台のコンピュータ」が答えです。 **but** 節の中を見ると **them** という代名詞があります。複数の物や人をうける代名詞ですので、複数のコンピュータを買ったと考えるのが妥当です。

**a. a computer** 「一台のコンピュータ」は単数なので **them** で受けられません。また、 **c. hardware** 「ハードウェア」と **d. software** 「ソフトウェア」も不可算名詞なので複数の物や人をうける代名詞の **them** では受けられません。

### 2. Two pieces of wood are bolted together to make it stable.

「安定させるために2個の木材がボルトで固定されています。」

解説： **a. wood** 「材木」(名詞)が答えです。 **piece of** があることで、続くものは不可算名詞であるということを見極めるのがポイントです。 **piece of** 不可算名詞という形で不可算名詞を数えられるようになります。主語が **pieces** と複数形なので複数形の主語をとる **are** を付けることができます。

**b. woods** のように複数形にすると「森」の意味になります。森は **pieces of** では数えません。**c. wooden** 「木材の」は形容詞であり、さらに、後ろには名詞が必要です。**d. woodcraft** 「森林の知識」(名詞)のような意味になりますが、ボルトで固定することはできませんのでここに入れることはできません。

### 3. All offices are closed due to remodeling. 「改装のため、全ての事務所は閉鎖されています。」

解説： **d. All offices** 「全ての事務所」(形容詞+名詞)が答えです。後ろが **are** なので主語は複数形の名詞である必要があります。

**a. Office** は可算名詞が無冠詞となっていますので形に誤りがあります。また、複数形ではないので **are** に付けることはできません。**b. An office** 「1つ事務所」と **c. The office** 「その事務所」は、形は正しいですが、複数形ではないので **are** の主語になることはできません。

## Explanation - Homework

### 1. More information is available on our web site. 「さらに詳しい情報は当社のウェブサイトにあります。」

解説： **b. is** (**be** 動詞の3人称単数現在形)が答えです。 **information** は抽象的な概念を意味する名詞です。つまり、不可算名詞となります。そこで主語が不可算名詞である場合に適した **be** 動詞を選びます。選択肢では **more information** を主語にすることができる動詞は **b.is** だけです。(レッスン16参照)

**a. be** (**be** 動詞の原形)を単独で述語動詞にすることはできません。 **will be** などのように助動詞がついていれば答えになることも可能です。**c. are** (**be** 動詞の2人称単数・複数現在形)は主語が複数の場合に使用しますが、 **more information** は不可算名詞のため、複数と考えることはできません。**d. am**

は、**be** 動詞の1人称単数現在形です。**more information** は3人称の単数なので、これを述語動詞として入れることはできません。

**2. One of the options is to install a new anti-virus program.** 「1つの選択肢は新しいウィルス対策ソフトをインストールすることです。」

解説：**c. options** 「複数の選択肢」(名詞の複数形)が答えです。**one of ~** の存在に注目します。**one of ~** は「~のうちの一つ」という意味があります。従って**one of ~**の、~には可算名詞の複数形を入れます。可算名詞の単数形や不可算名詞は入れられません。

**b. option** は単数形なのでここに入れることはできません。**a. opt** 「選ぶ」(動詞)と**d. optional** 「選択の」(形容詞)は名詞ではないので入れることはできません。

**3. According to a research, the average office worker drinks two cups of coffee a day.** 「ある研究によると、平均的な事務職社員は1日に2杯のコーヒーを飲むとのことです。」

解説：**b. cups** 「複数のカップ」(名詞の複数形)が答えです。空欄の後には**coffee** とあります。物質を意味する名詞は不可算名詞です。従って、**coffee** も不可算名詞です。そして、そのような不可算名詞を数えるための方法を知っているかがポイントとなります。**coffee** は不可算名詞ですから、直接**s**を付けることができません。そこで、なんらかの可算名詞を置き、その可算名詞に**s**を付けて複数形にし、数えるようにします。つまりここでは、**two** 「2つの、2個の」(形容詞)の後ろに付けられるのは複数形の可算名詞となります。

**a. cup** と**c. piece** 「片、ピース」は可算名詞の単数形なので**two** に付けられません。**d. pieces** は**two** には付けられますが、コーヒーを数える場合は**cup** を使います。**two pieces of coffee** という表現は不自然です。